

日清食品カップ
第33回全国小学生陸上競技交流大会
富山県大会要項

- 1 主 催 (公財)日本陸上競技連盟 (一財)富山陸上競技協会
- 2 後 援 富山県教育委員会 (公財)富山県体育協会 富山県スポーツ少年団
財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団 北日本新聞社
- 3 主 管 (一財)富山陸上競技協会
- 4 協 賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 5 協 力 株式会社アシックス 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
- 6 場 所 富山県総合運動公園 富山県陸上競技場 (富山市南中田 368 Tel 076-429-8835)
- 7 期 日 平成29年7月2日(日)受付8:00~8:30 開始式9:00 競技開始9:30
- 8 種目及び
参加人数 各郡市は下表を1枠としてその範囲内で選手団を編成する。
(なお、富山市は4枠、高岡市は2枠、射水市は2枠で選手団を編成する。ただし、総監督は1名とする。)

種別	種 目	選 手	指導者	備 考
リレー	男子 4×100mR 女子 4×100mR (男女友好レース)	5名×3チーム 5名×3チーム (男女各1名)	3名 3名	優勝チームは全国大会 〃 (リレーの控え選手による100m走)
単独種目	男子 5年100m 女子 5年100m 男子 6年100m 女子 6年100m 男子 80mハードル 女子 80mハードル 男子 走幅跳 女子 走幅跳 男子 走高跳 女子 走高跳 男子 ジャベリックボール投 女子 ジャベリックボール投	4名 4名 4名 4名 2名 2名 3名 3名 3名 3名 3名 3名	4名 4名 4名 4名 2名 2名 3名 3名 3名 3名 3名 3名	優勝者は全国大会 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
単独種目	男子 1000m 女子 1000m	2名 2名	2名 2名	県大会まで 〃
		72名	48名	
			1名	(総監督)
				選手団合計 121名

9 参加資格並びに条件

- (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。小学5年生種目への出場者は平成18年(2006年)4月2日~平成19年(2007年)4月1日の間に生まれた者とする。小学6年生種目への出場者は平成17年(2005年)4月2日~平成18年(2006年)4月1日の間に生まれた者とする。
- (2) 指導者は、出場するリレーチーム及び単独種目のそれぞれの指導者。
- (3) 総監督は、各郡市陸上競技協会が指名する登記登録者。
- (4) リレーチームの編成は、各郡市予選会を通過したチームとする。
(全国大会は5名でのエントリーであり、郡市予選会後の追加エントリーはできません。予選会プログラムを提出すること。)
- (5) チーム名に小学校は、富山小学校、富山クラブ、富山AC、トヤマジュニアなどコンピューター入力上、全角6文字、半角12文字以内が望ましい。
- (6) 出場制限 1人1種目とし、種目を重複して出場することはできない。
- (7) 参加料 1人600円(各郡市ごとに入金ください)

10 競技規則

平成29年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、児童の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

11 競技上の注意事項

(1) 全般

- ア 競技に際してはスパイク（スパイクピンは、オールウェザー用9ミリ以下のピン使用）又はシューズを使用すること。
- イ ナンバーカードは、支給されたままの大きさでユニホームの胸と背につける。（腰や腹の部分につかない。）腰のナンバーカードは写真判定のため右腰のやや後方につけること。
- ウ 競技者の集合場所は第2ゲートとする。集合場所には、競技に出られる服装でナンバーカードをつけて集合すること。集合時刻に集合場所にいない場合は棄権として処理する。

(2) トラック競技

- ア **本年度よりクラウチングスタートのみとすることから事前に練習をしておくこと。**
スタートティングブロックを使用する場合は、競技場備え付けのものを使用すること。（使用しなくてもよい。）
スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。ただし、失格となった競技者はオープンとして引き続きレースに参加させる。（順位には含めない。）
- イ トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。

(3) リレー競技

- ア 予選のオーダー及び友好レース（控え選手の100m走）の出場競技者名を所定の用紙に記入し、9時までに郡市受付へ提出すること。決勝のオーダーは、予選のオーダーと同一とする。ただし、けが等やむをえない場合、決勝レースの60分前までに本部に連絡する。
- イ バトンは競技場備え付けのものを使用する。
- ウ テイクオーバーゾーン手前（10mの補助ゾーン内）からの助走を認める。
- エ マーカーは各チームで用意する。各走者が使用できるマーカーは1つとする。レース後、次走者のつけたマーカーを必ずはずすこと。
- オ 各走者は危険防止のため、走り終わってからも自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。レース後、審判の指示に従い退場すること。

(4) ハードル競走

- 80mハードル走は、スタートから第1ハードルまで13m、ハードル間7m、最終ハードルからゴールまで11m、高さ70cm、9台で行う。

(5) 走幅跳について

- A、Bピットに分かれて3回の試技を行い、記録上位者8名が更に3回の試技を行って（Aピット）順位を決定する。

(6) 走高跳

- 走高跳（はさみ跳び）は、マットへの着地は足裏からとし、**背、腰などからの着地は無効試技とする。**また、本大会では、高さ約30cmのマットを使用する予定。
走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

区分	練習	試 技						
男子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後、3cm
女子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35		刻みで上げる。

(7) ジャベリックボール投

（ルール）

- ア 試技順に従って1回ずつ投げ、3回の試技を行って順位を決定する。
- イ 助走距離は15m以内とし、投げた後もスタートティングラインを超えてはいけない。
- ウ 測定方法は器具が地面に最初に触れた時点から計測する。
- エ 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。

（禁止事項）

- ア 羽を持っての投げ

- イ 回転投げ

（その他）

- ジャベリックボール投のルールを確認し十分に練習を積んで参加すること。

参考：ジャベリックボール投指導VTR <https://www.youtube.com/watch?v=7bwel-s0fC0>

12 大会申込み

(1) 提出物

- ①大会申込書（様式1～3）
- ②承諾書（様式4）
- ③各都市予選会のプログラム
- ④予選会参加者数調査書（様式5）

(2) 提出期限

①の様式1～2は平成29年6月16日(金)までにデータで提出すること。

E-mail : shougakuseirikujo@yahoo.co.jpまで

様式3は大会当日の提出でも構わない。

なお、様式1～3の郡市陸協会長印のあるものについては、大会当日(7月2日)に提出すること。

②～④も大会当日の提出でも構わない。

(3) 提出先

〒939-8081 富山市堀川小泉町一丁目13-10
富山市立堀川小学校 Tel 076(424)1911 FAX 076(424)1912
富山陸上競技協会 普及部 田部大輔

(4) 参加料 大会参加料の納入は銀行振り込みに限る。

振り込み先：北陸銀行 県庁内支店(106) 普通口座6010658

一般財団法人 富山陸上競技協会 普及部2

手数料は各郡市で負担し6月16日までに入金ください。

13 表彰 各種目3位入賞者には、賞状とメダル、4～8位入賞者には賞状を授与する。

14 全国大会

(1) 出場資格 県大会における下記種目の男女優勝者

4×100mリレー(県大会と同一メンバーの5名)、5・6年生100m、
80mハードル、走幅跳、走高跳、ジャベリックボール投

(2) 期日 平成29年8月18日(金)・19日(土) 1泊2日

(3) 場所 神奈川県・日産スタジアム

(4) 選手団 出場資格を得た選手22名及び総監督を含む指導者4名の計26名

(5) 宿泊 各県選手団は大会本部が指定する宿舎に宿泊する。

(6) 経費 選手団の宿泊費・交通費(日本陸上競技連盟の規定による実費)は、日本陸上競技連盟が負担する。

(7) 合宿等 全国大会出場者を対象とした合同合宿(1泊2日)を8月上旬に総合体育センターにて行う予定。そのほかに練習会を数回行う。詳細は後日案内する。

(8) 説明会 県大会終了後、出場資格を得た選手及び指導者、保護者を対象として全国大会についての説明会を行う。

15 その他

(1) ナンバーカードは、大会当日受付にて各県選手団に配布する。

(2) 郡市予選会開催に10,000円の補助金を支給する。

(3) 参加児童の傷害保険は主催者で加入する。

(4) 当日、弁当が必要と思われる場合は各自で用意する。

(5) 競技日程は大会前に「富山陸上競技協会」ホームページに掲載する予定。

(6) 保護者の駐車場は、必ず指定された場所を利用する。